

猪苗代中学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

<開校式での校長あいさつ>

今日の開校に向けて、数年前より開校準備委員会を立ち上げ取り組んでこられました関係各位の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、統合猪苗代中学校は太陽光発電や地中熱交換システムなどの再生可能エネルギーが使われており地球に優しい学校です。また福島県の木材がふんだんに使われていたり、万が一の時には地域の避難所としての機能も備わっているなど、地球規模での環境問題から地域防災など、多くの課題解決のために猪苗代町当局の強い思いが込められた校舎となっております。

このように、未来を担う生徒たちを育成するためのハード面の環境がしっかり整っておりますので、開校準備委員会ではソフト面の教育課程編成に於いても、未来を見据えて「学校経営・運営ビジョン」づくりに取り組んで参りました。

教育目標を「～野口英世博士の遺訓を生かし～地域に学び、持続可能な未来を拓く人材の育成」として、野口博士の遺訓（目的・正直・忍耐）と知・徳・体をそれぞれ関連させております。

前猪苗代中学校は五十八年、東中学校は六十四年、吾妻中学校は四十二年のそれぞれ特色ある教育活動は、地域の素材や地域の方々からの学びによって充実・発展して参りました。統合猪苗代中学校においても地域とともにある学校づくりが第一と考えた次第です。

また、地球規模での様々な課題解決のために国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成のためには、これからの次代を担う子どもたちの教育が最大で最適な方法とされています。そこで教育活動と（SDGs）の関連を洗い出し、学校教育の柱に取り入れました。

そしてこれらの思いを忘れないためにシンボルを作成しました。「SDGsバッチ」です。これは前猪苗代中学校の中庭から移植できない木々をもとに、生徒たちが一つ一つ手作りしたものです。全校生、全職員が胸に付け、心をひとつに教育目標の具現化に向けて取り組んで参りますことをこの場でお誓い申し上げます。

最後になりますが、今後とも、閉校しました三つの中学校同様、統合猪苗代中学校に対しましても変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げ、開校にあたってのあいさつといたします。

令和4年4月1日

猪苗代町立猪苗代中学校長 横山泰久